

## アズキの食習慣と利用形態

—アンケート調査による日韓の比較—

宮城大学看護学部 猪口尚子

〔目的〕前報において、「日本の食生活全集」により、日本に伝承されてきたアズキの利用形態を調査した。アズキは祝儀以外に、不祝儀や民間薬等としても利用されていた。特に、他の豆類との比較から、アズキには赤という色に呪術的な意味が込められており、魔除けとして使用すると効果があると考えられてきたことが明らかになった。そこで、この結果をもとに、現在のアズキの利用形態を把握するため、日本と、日本と同様にアズキの食習慣がある韓国において、主に大学生に対し、1996年7月にアンケート調査を行った。

〔調査方法〕アンケート対象者は、日本では323名（武庫川女子大学:89名、長崎女子短期大学:91名、鹿児島県立短期大学:44名、熊本県立大学:99名）、韓国では210名（ソウル保健専門大学:114名、嶺南大学校生活科学大学:96名）であった。調査内容は、①アズキの祝儀・不祝儀、民間薬での利用状況、②民間薬で利用する場合の病名と処方等である。

〔結果〕①両国ともに、祝儀での使用が最も多かった。②日本と比較して、韓国では、邪気払い、無病息災祈願でのアズキの利用が多く、日本とは異なる韓国独特の風習が見られた。③両国ともに、アズキの民間薬としての利用は少なかった。しかし、日本と比べ、韓国では、民間薬として使用する場合の病気の種類が多く挙げられていた。